

平成 26 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社アクトコール  
 代 表 者 名 代表取締役 平井俊広  
 (コード番号：6064 東証マザーズ)  
 問 い 合 せ 先 専務取締役管理部長 菊井聡  
 電 話 番 号 0 3 - 5 3 1 2 - 2 3 0 3

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 1 月 15 日に公表いたしました平成 26 年 11 月期（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	連 結 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 2,976	百万円 282	百万円 250	百万円 130	円 銭 105.64
今回修正予想 (B)	2,838	77	47	△39	△31.85
増 減 額 (B-A)	△137	△205	△202	△169	
増 減 率 (%)	△4.64%	△72.68%	△81.14%	—	
(参考) 前期連結実績 (平成 25 年 11 月期)	1,956	98	72	23	18.77

#### 2. 業績予想修正の理由

前年より開発を行っていた不動産賃貸業界向けの駆けつけサービスに家財保険や家賃収納機能を付加した複合サービス（入居者総合補償サービス）の売上の伸びを見込んでおりましたが、拡販体制が繁忙期（2月～3月）までに整わず、且つ、サービス自体が市場ニーズに合致したものでなかったことにより、販売が大幅に予想を下回りました。

その後、これらを挽回すべく、当該サービスのリニューアルの実施と、不動産賃貸業界向けサー

ビスの提供により培ったノウハウを活かして持家市場向けサービスの開発注力いたしました。持家向けサービスについては、大手不動産会社との業務提携等進展はありますが、これらについても本格的な拡販体制の整備が当初予定よりも遅れ、業績への本格的な寄与は来期以降になる見通しです。こうしたことにより、連結売上高は当初予想を下回る見込みであります。

損益面につきましては、連結売上高が想定よりも下振れする中で販売費及び一般管理費の抑制や、コールセンター体制面の見直しによる原価低減施策を講じたものの、冬場の大型寒波の影響による凍結事案の増加をはじめとした異常気象等を起因とする入電、出勤率の上昇の影響は大きく、結果、連結営業利益、連結経常利益ともに予想を下方修正することといたしました。

※ 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定な要素により、実際の実績と異なる場合がありますのでご了承ください。

以 上